

経営比較分析表（平成29年度決算）

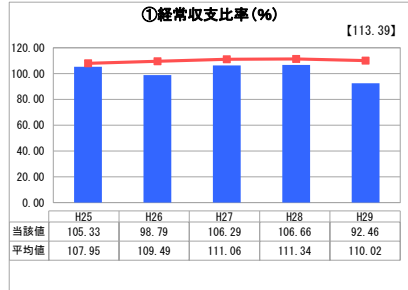
岡山県 早島町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	73.84	100.00	1,561	

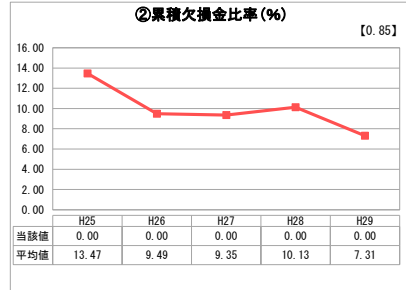
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
12,490	7.62	1,639.11
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
12,484	7.62	1,638.32

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	平成29年度全国平均

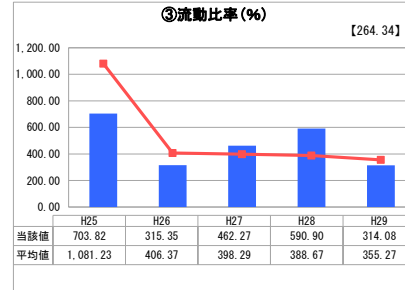
1. 経営の健全性・効率性



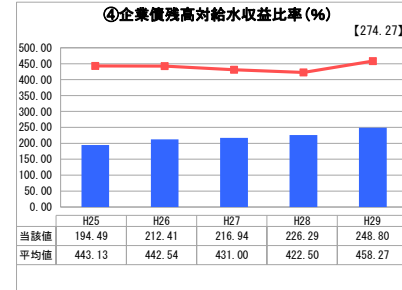
「経常損益」



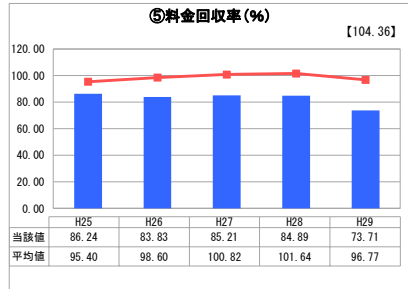
「累積欠損」



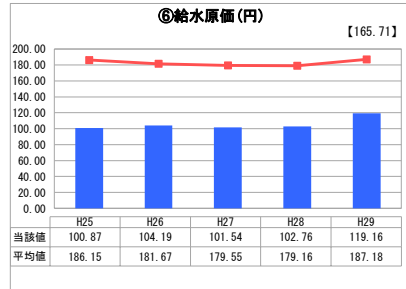
「支払能力」



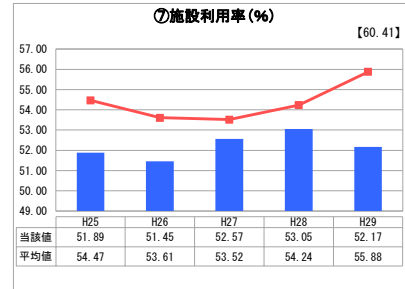
「債務残高」



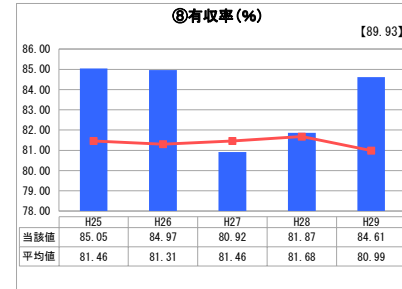
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

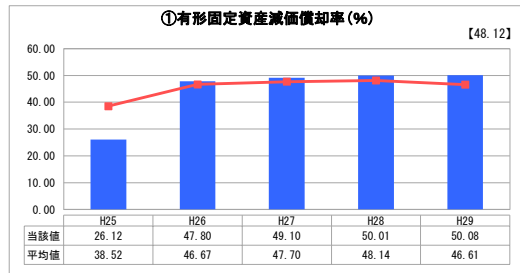


「施設の効率性」

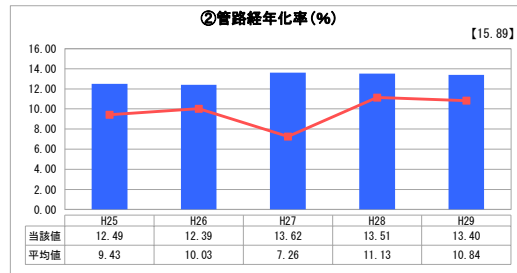


「供給した配水量の効率性」

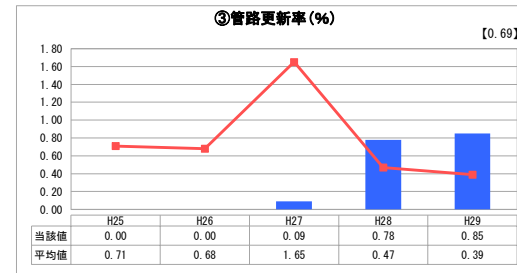
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率が100%を下回っているが、これは一時的な支出の増加によるものである。
 - ②累積欠損比率は発生していない。
 - ③流動比率については、類似団体平均値を下回っているが、300%程度あることから短期債務に対する支払い能力は確保されているといえる。
 - ④給水収益に対する企業債残高が増加傾向にあるので、企業債の発行の抑制及び適正な料金改正が必要である。
 - ⑤毎年度100%を下回っていることから給水に係る費用が給水収益で賄っていない状況にある。
 - ⑥有収水量1m³あたりの給水原価は、平均値よりも低く抑えられており、費用効率は良いといえる。
 - ⑦概ね平均値水準である。
 - ⑧27年度急激に悪化したのが、28年度、29年度と上昇している。
- 料金回収率が毎年度100%を下回っていることから、健全経営ができていないと判断している。

2. 老朽化の状況について

- ①ここ4年は、概ね平均値水準である。数値が100%に近いほど資産が法定耐用年数に近づいていることを表している。
 - ②平均値より高い。
 - ③平成28年度、平成29年度は平均値を上回ってはいるが、更新はあまり進んでいない。
- 以上のことから、法定耐用年数を迎える施設の増加が見込まれるため、平成29年度に見直した早島町上水道基本計画に基づき、計画的に更新を行うことが課題である。

全体総括

本町の水道事業経営は決して良好とはいえず、平成30年度において料金改定実施予定であるが、改定後なお料金回収率が100%に満たず、さらなる水道料金の改正の必要がある。今後は、施設の老朽化に伴い、更新にかかる費用を確保する必要があるため、平成30年度において策定予定の経営戦略に基づき計画的に水道経営を行っていく必要がある。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。